

那須の歴史再発見!

那須町の地域文化遺産

vol.12



吉田公民館

今回は、外務那須野開拓を紹介します。

外務那須野開拓は、アジア・太平洋戦争中に中国大陸で各外務省の先機関に勤務し、敗戦後の混乱期には総領事館で一般邦人の内地引揚げに従事し、最後に帰国してきた外務省関係者たちが入植した開拓です。引揚げてきた外務省関係者らを当時の外務大臣であった吉田茂（一八七八ー一九六七）が、帝室林野局と交渉し確保した那須村豊原沼尻地内の同局の土地に希望者を入植させました。

入植は昭和21年春に開始さ

れ、漸次昭和24年ころまで行われました。外務省は入植者らに対し、食糧や生活支援物資の援助、住宅や作業場兼倉庫などを建築し与え、入植世話係員を派遣するなど、手厚い環境整備を行いました。松沼地区の地元住民からも支援があり物的心的な援助が入植者を支えました。

入植時は、外務省那須野帰農組合としましたが、農業協同組合法公布時に、外務那須野開拓農業協同組合に名称を変更しました。この頃から、県や町の援助も受けながら、全国開拓農業協同組合連合会（全開連）へ参加しています。

昭和22年、昭和天皇・香淳皇后が那須村の慈生会那須農場を視察した際、外務那須野の開拓者らも拝謁を受け「ああ外務省の、ご苦労様です。頑張ってください。」と言葉をかけられたといいます。またこのころになると収穫物を

持参し外務省を訪れ、外務大

臣に面会したといえます。特に、吉田茂にお世話になったことから、集落名は吉田と名付けられました。

開拓当初は、芋や雑穀、陸稲などが栽培の主軸でしたが、昭和20年代後半の冷害の影響を受け、昭和30年には全戸で家畜が導入され酪農にシフトしました。また、昭和40年代ころにはバングラムの共同出荷や養蚕農家が登場し、沼尻地区内に那須町農業協同組合の稚蚕飼育所が設置されるなど養蚕と酪農が盛んな一帯となりました。

現在、開拓組合は解散していますが、集落名が彼らの歴史を伝え続けています。



吉田茂（首相官邸 HP より）

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007

特別展「那須御用邸100周年記念那須と皇室のあゆみ」を開催しています

那須御用邸が設置されてから今年で、100周年を迎えます。そこで、明治天皇の巡幸から那須御用邸の設置、皇室ゆかりの品々などを紹介し、那須町と皇室のあゆみを振り返ります。

▼会期 6月21日(日)まで

▼入館料 大人300円（中学生以下無料）※特別展料金となります

▼講座「那須御用邸と新那須温泉」

▼日時 5月10日(日)

午後1時30分～3時

▼場所 文化センター小ホール

▼定員 30名（要予約先着順）

▼講師 高根沢広之氏
（那須塩原市文化財保護審議会会長）

県立博物館市町連携事業
移動講座「那須御用邸内のレッドリストの維管束植物」

▼日時 5月31日(日)

午後2時～3時30分

▼場所 文化センター小ホール

▼定員 30名（要予約先着順）

▼講師 星直斗氏（県立博物館）

▼展示解説日

▼日時 各回午後2時～3時

①4月29日(水) ②5月3日(日)

③6月21日(日)

▼無料入館日

▼期日 ①5月17日(日) ②6月14日(日)

古文書フリーニングボランティア募集のお知らせ

当館では、江戸時代～平成にかけての文書や葉書を収蔵しています。保存には定期的なクリーニングが必要となり、後世に遺すためご協力いただける方を募集しています。

▼活動日 木・金曜日の午前10時

～午後3時（午前または午後のみ作業でも大歓迎です）

▼場所 那須歴史探訪館内